

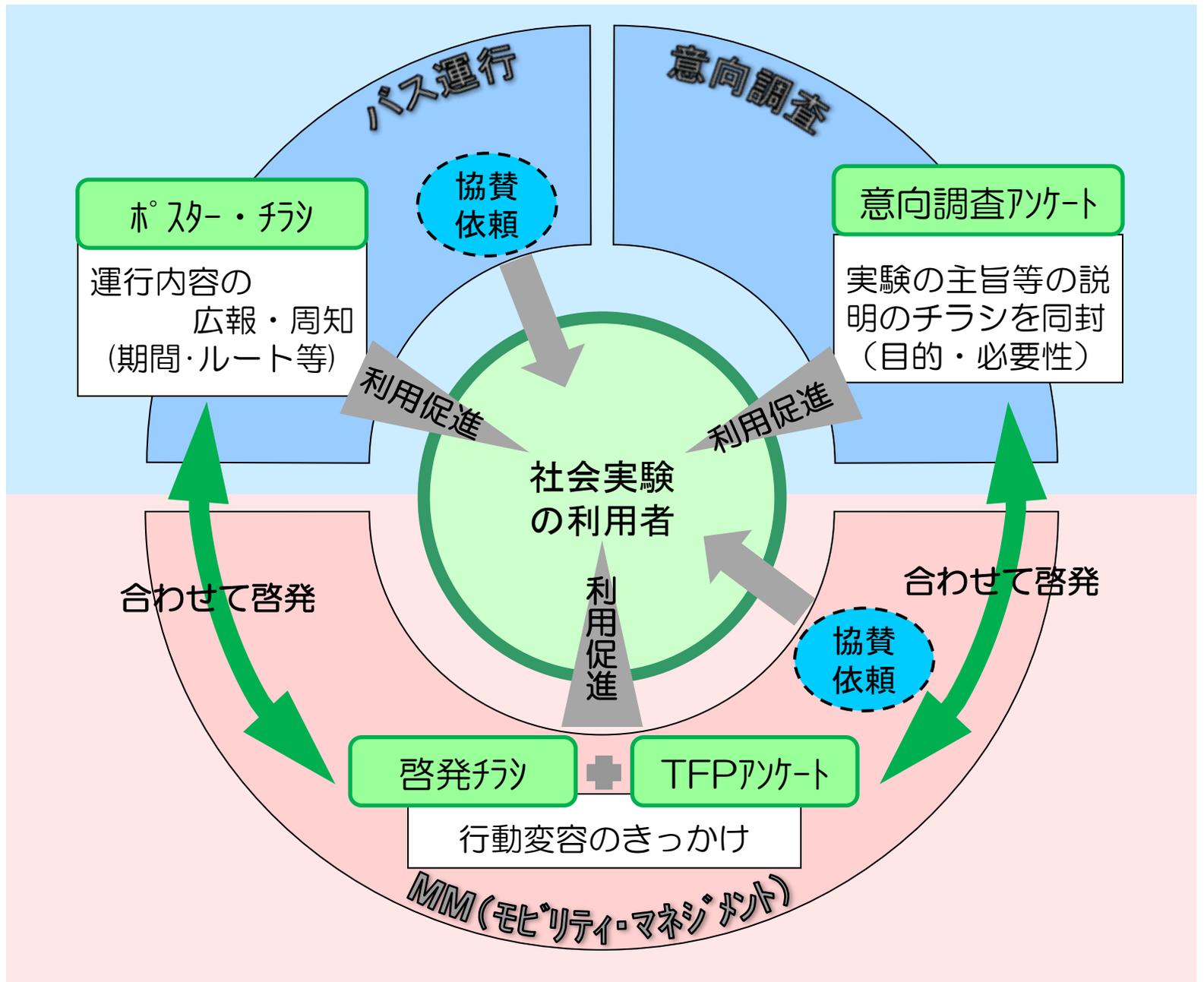
高松市総合都市交通計画推進協議会 第2回 市民啓発部会資料

モビリティ・マネジメント実施計画(案)

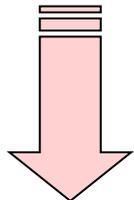
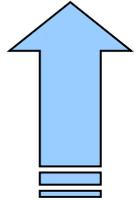
— 概要 —

平成23年7月

高松市



社会実験 (短期的)



啓発活動 (長期的)

実施フロー

6月

6/24 第1回市民啓発部会

- ・MM計画（概要）の説明
- ・MM計画（実施MM、実施フロー）の説明
- ・啓発冊子、TFPアンケートのイメージ提示
- ・MM実施の方向性の承認

対象事業所の募集・周知
リストアップ

- ・商工会議所に協力依頼（住所リストの提供、広報誌掲載依頼、発送等は市で実施）
- ・香川産業支援財団に協力依頼（行政関係施設は別途依頼）

7月

啓発冊子・TFPアンケートの詳細確定

※【問題点】期間が短い
香大工学部 7月末までに実施が必要

7月下旬頃 第2回市民啓発部会

8月

事業所担当者への訪問、協力依頼

- ・実施予定事業所の提示
- ・目的・必要性チラシ、啓発冊子、TFPアンケートの提示
- ・今後のMM計画予定（実施MM、実施フロー）の説明
- ・MM実施の承認

MM実施事業所の確定

- ・応募企業への訪問、協力依頼

9月

TFPアンケートの実施

TFPアンケートの回収

10月

社会実験運行開始

協賛事業所の募集

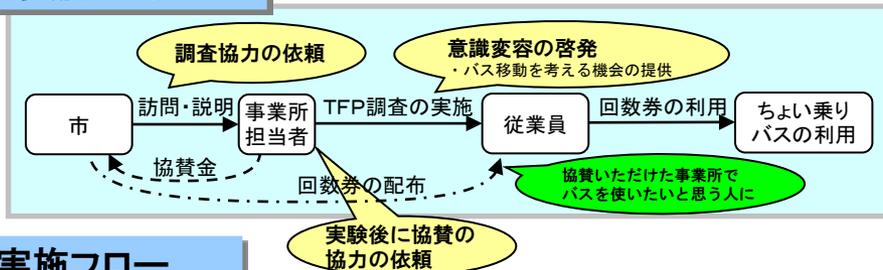
ねらい

- ・事業所に対して、働きかけをすることで、昼間の業務（営業）移動の際のバスの利用を促進する。
- ・従業員へのTFPアンケート調査を実施し、バスの利用促進と意識啓発を行う。
- ・協賛いただいた事業所には、事業所名をHPや記者発表資料等に掲載し、事業所のイメージアップに貢献する。

ターゲット特性

- ・運行ルート沿線の事業所
- ・業務や営業目的で外出する従業員

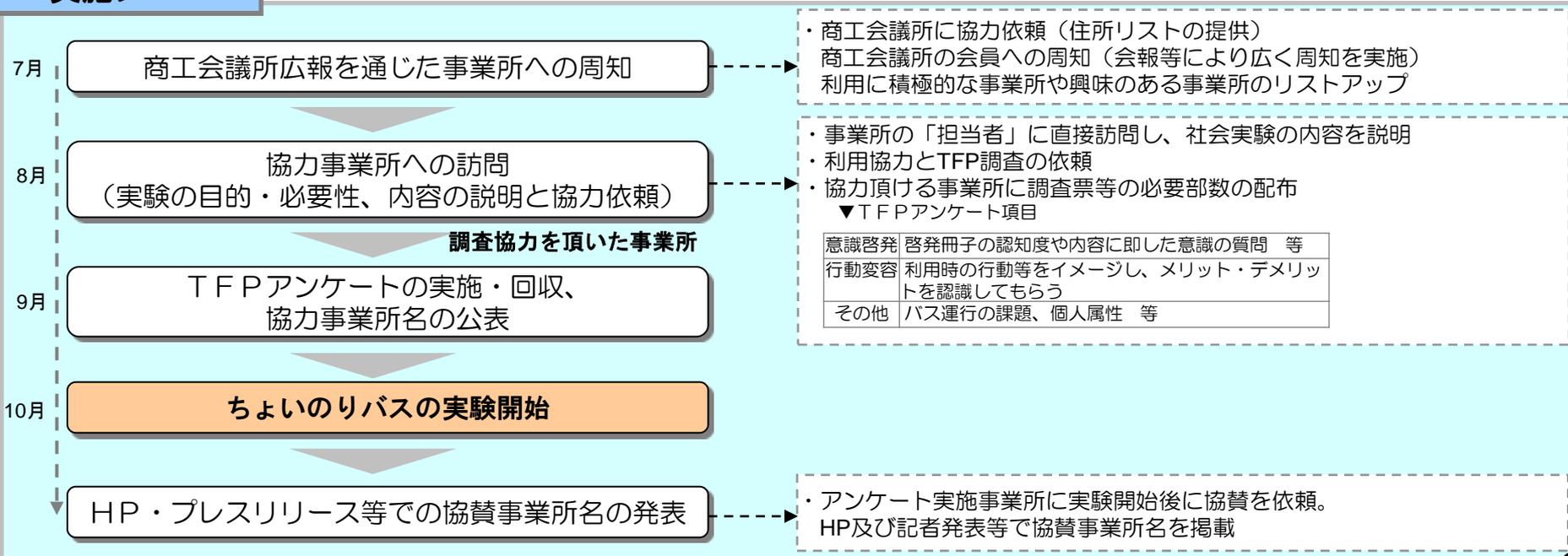
実施スキーム



利用のメリット

- ・地域の社会貢献になる
- ・交通事故の心配がない
- ・運動不足解消による健康づくり

実施フロー



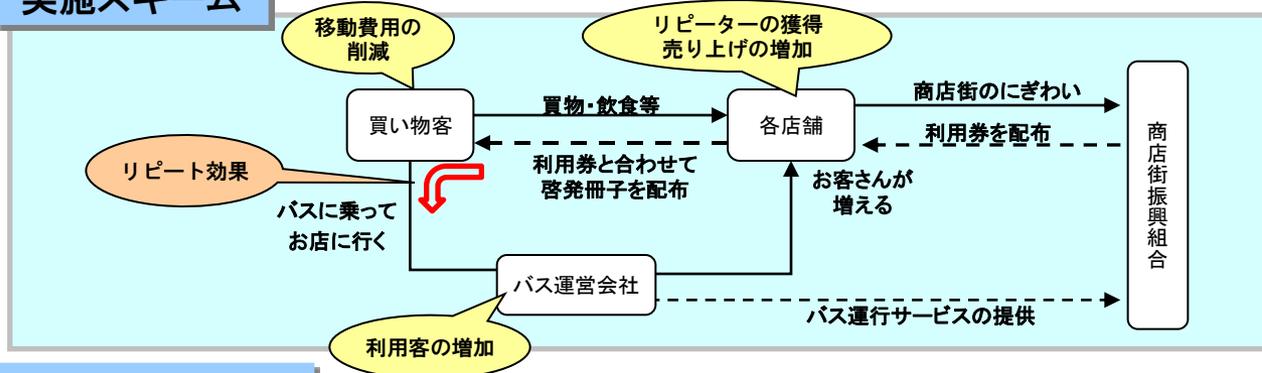
ねらい

- ・商店街に自動車で来る人や運行ルート沿線の方を対象に、バス利用を促す。
- ・商店街等で買物をした方への利用券配布に合わせ、啓発冊子による働きかけを行うことで、リピーター利用を増やすとともに、気軽にバスで来てもらう。
- ・休日等に、バスで商店街に買い物に来たことがない人に、バスに乗って来てもらう。

ターゲット特性

- ・丸亀町商店街等や三越、天満屋等にクルマで来られている人
- ・運行ルート沿線の居住者
- ・商店街等に来たことがない人

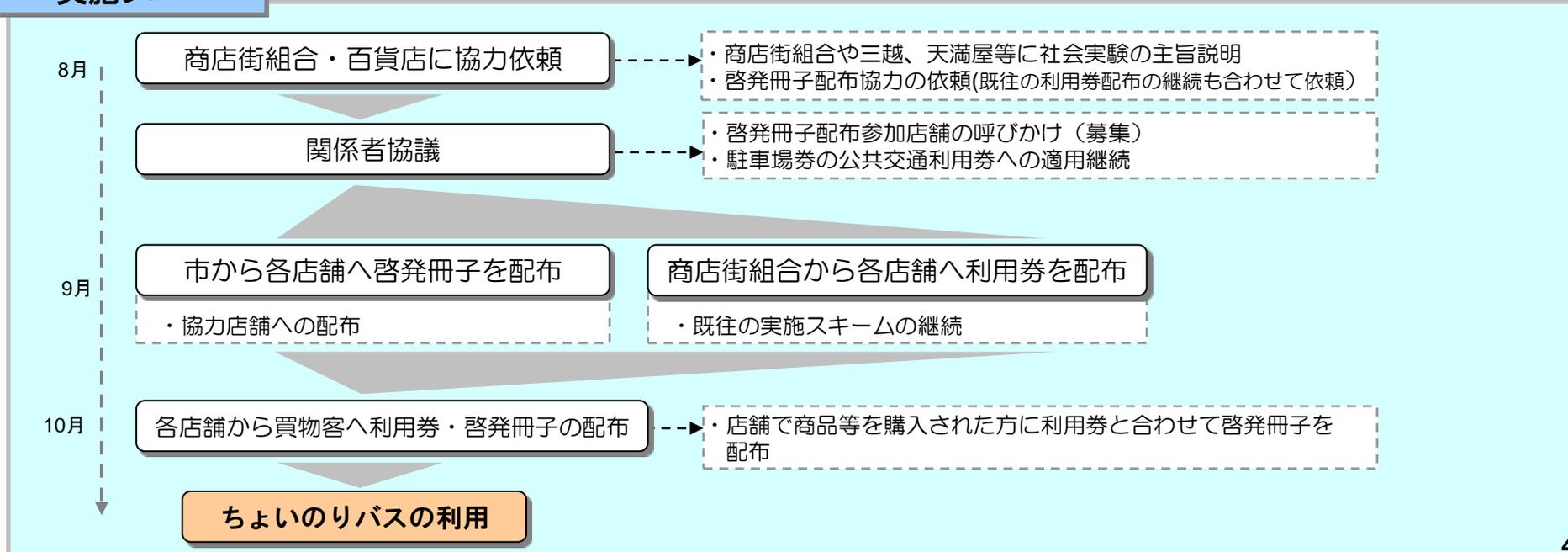
実施スキーム



利用のメリット

- ・商店街に来ると楽しい
- ・気軽に便利に来ることができる
- ・交通事故の心配がない
- ・運動不足解消による健康づくり

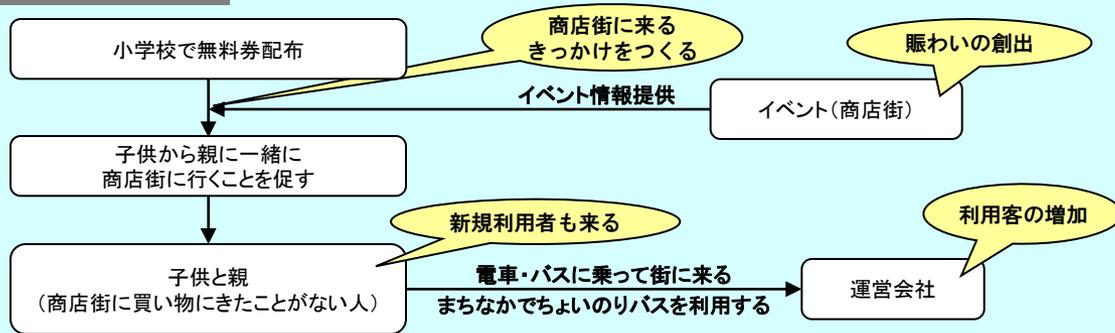
実施フロー



ねらい

- ・小学校の児童を対象として、「家族の人とバスに乗って街に行こう」と題した、子供無料券付のチラシを配布し、家族連れで商店街に来るきっかけをつくる。
- ・休日等に、バスで商店街に買い物に来たことがない人に、バスに乗って来てもらうきっかけをつくる。

実施スキーム



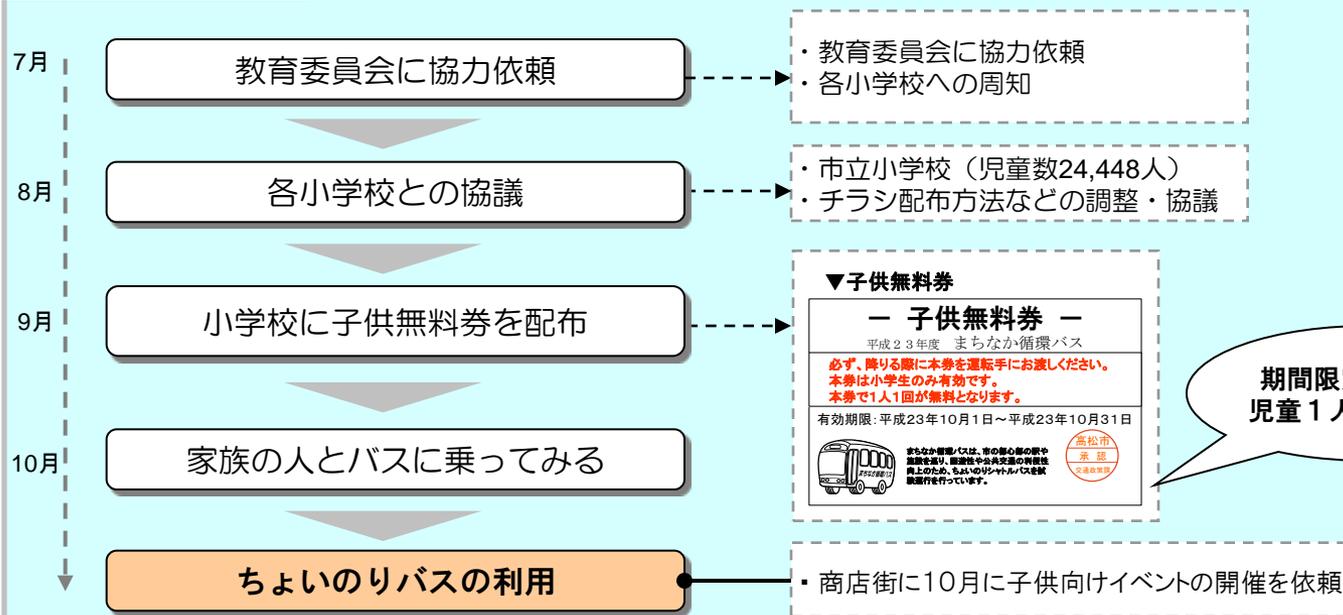
ターゲット特性

- ・周辺小学校の児童とその家族
- ・商店街等に来たことがない人

利用のメリット

- ・商店街に来ると楽しい
- ・気軽に便利に来ることができる

実施フロー



▼子供無料券

— 子供無料券 —

平成23年度 まちなか循環バス

必ず、降りる際に本券を運転手にお渡しください。
本券は小学生のみ有効です。
本券で1人1回が無料となります。

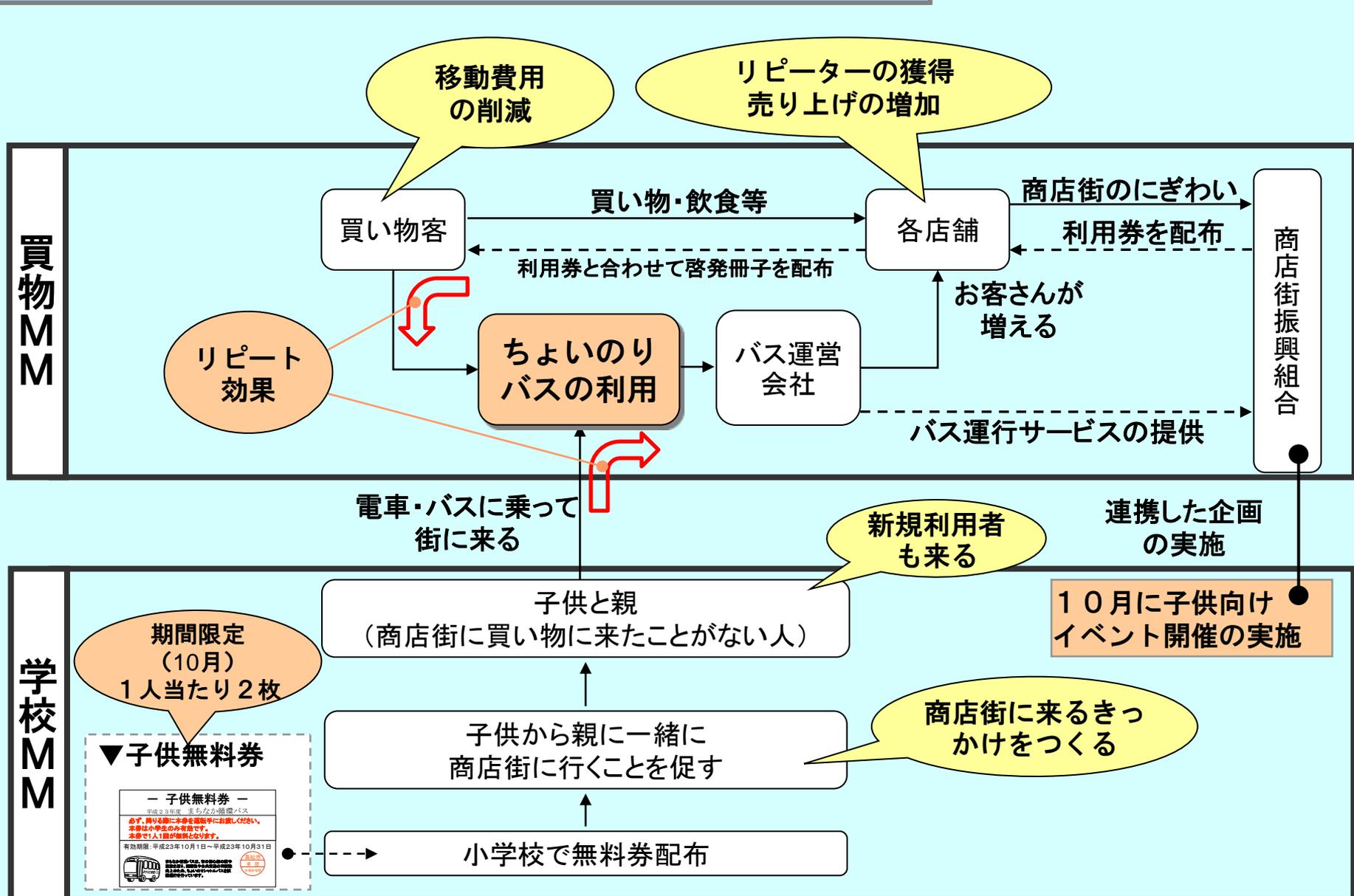
有効期限：平成23年10月1日～平成23年10月31日

まちなか循環バスは、市の中心部の駅や商業街、図書館や公共施設の周辺にあり、ちよいのリバスと連携して運行を行っています。

高松市 承認 交通教育課

期間限定(10月)
児童1人当たり2枚

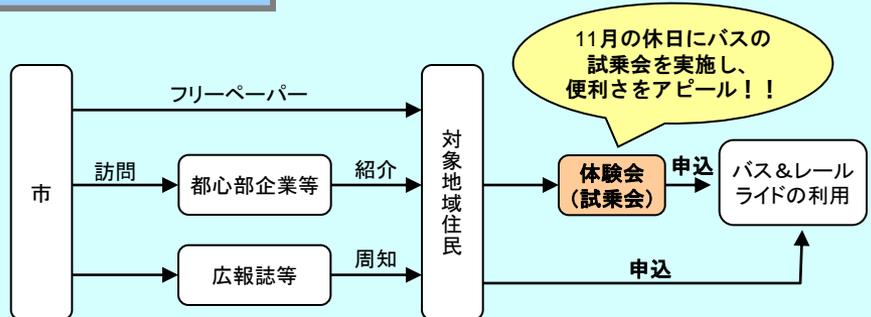
買物MMと学校MMの連携により、より多くの人に商店街にバスで来てもらう



ねらい

- ・ P & BR 駐車場周辺および背後地の居住者を対象に、P & B R を周知し、バス利用を促進する。

実施スキーム



ターゲット特性

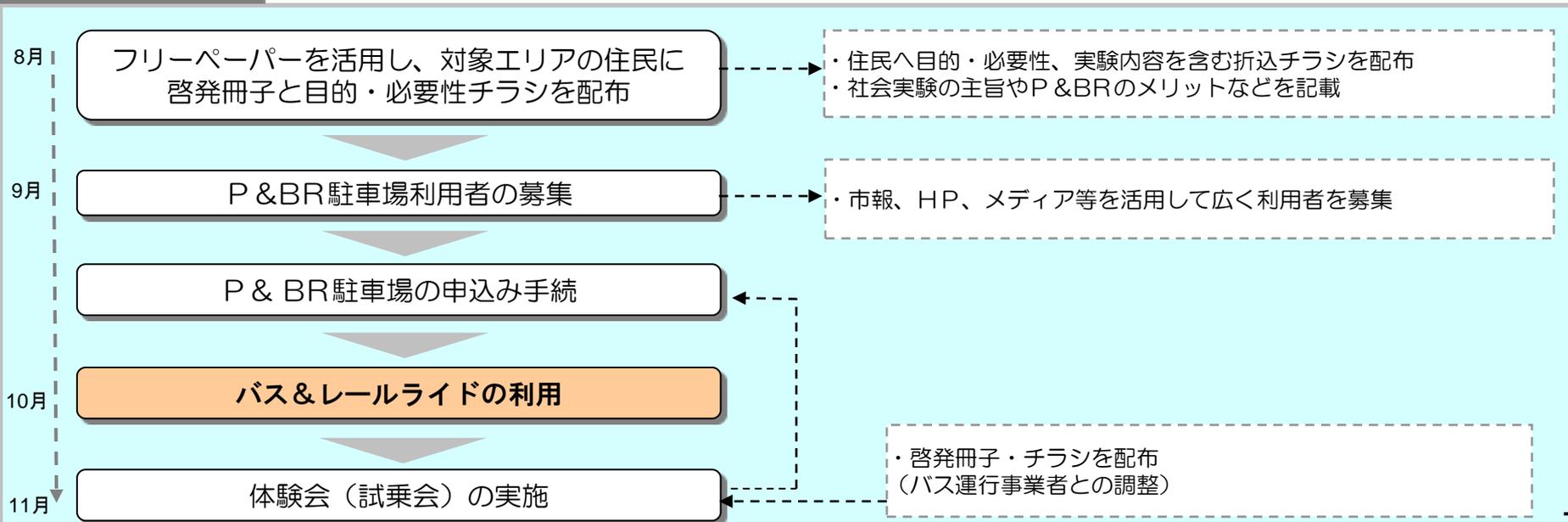
- ・ P&BR 駐車場から約 5km 圏内（1 km 以遠）居住者で、クルマ通勤の方のうち、ことごとん太田駅から通勤可能な人



利用のメリット

- ・ 都心部に公共交通機関で通勤ができる
- ・ 交通事故や渋滞の心配がない
- ・ 公共交通機関に乗っている時間を有効に活用できる

実施フロー



ねらい

- ・県立図書館に自動車で来る人を対象に、図書貸し出し時にTFPアンケート（啓発冊子・実験チラシを併せて）を配布し、情報提供と意識変容の啓発を行い、バス利用の促進を図る。

ターゲット特性

- ・県立図書館に自動車で来る人
⇒本を借りる人は、返却に来る（リピーター）ため、返却時のバス利用を促す

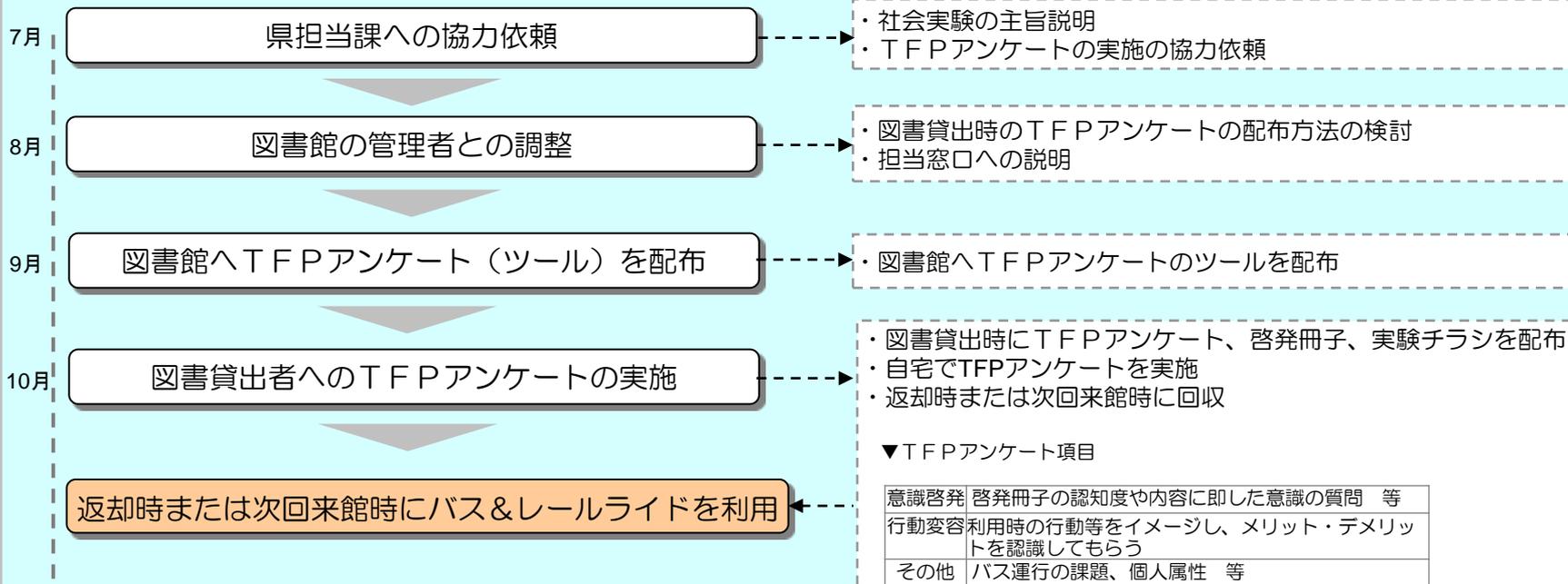
実施スキーム



利用のメリット

- ・バスの乗車時に本が読める
- ・交通事故の心配がない
- ・運動不足の解消による健康づくり

実施フロー



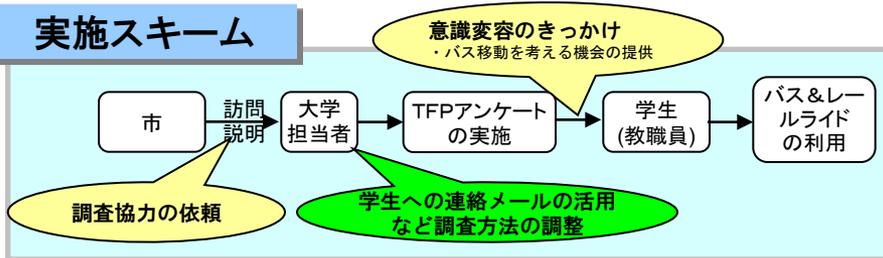
ねらい

- ・香川大学に自動車・自動二輪（原付含む）で通学している学生等を対象に、TFPアンケートを実施し、バス利用転換への行動変容のきっかけづくりを行う。

ターゲット特性

- ・本格的に工学部に来ていない1回生、2回生
- ・自動車、自動二輪（原付含む）で来ている3・4回生、大学院生、教職員
- ⇒雨天時のバス利用から手始めとして、公共交通利用を啓発

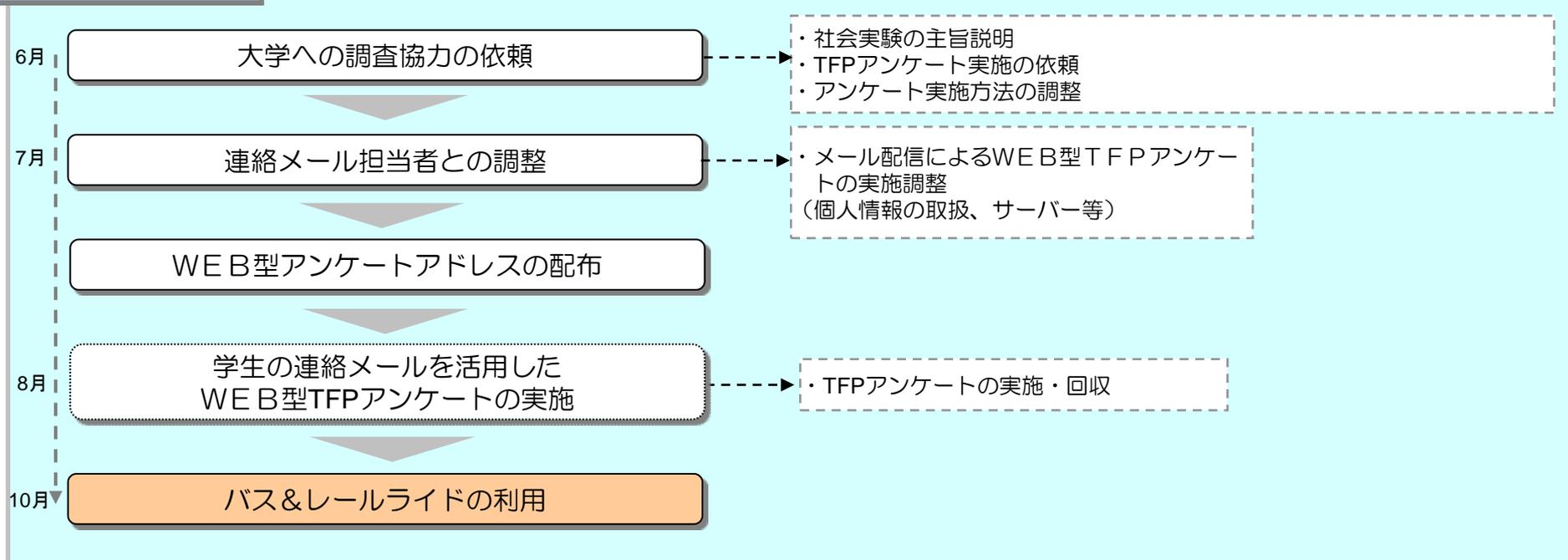
実施スキーム



利用のメリット

- ・自動車・バイクの維持費がかからない
- ・交通事故の心配が少ない
- ・バス乗車時の時間を、勉強や趣味に有効に活用できる
- ・雨天の交通手段には最適である
- ・社会人としての意識醸成

実施フロー



ねらい

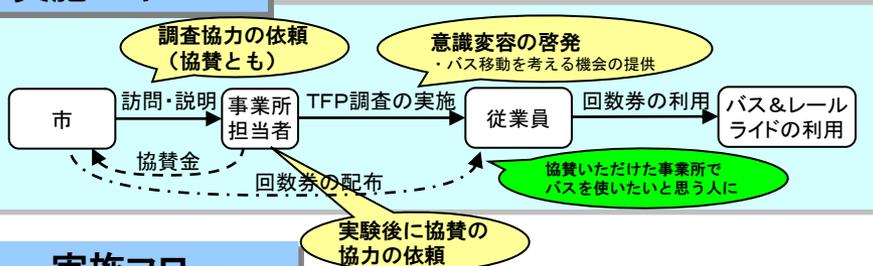
- ・事業所に対して、通勤や業務（営業）移動の際にバス利用を促進する。
- ・従業員へのTFPアンケートを実施し、バス利用促進の意識啓発を行う。
- ・協力いただいた事業所には、事業所名をHPや記者発表資料等に掲載し事業所のイメージアップに貢献する。

ターゲット特性

- ・図書館、香川大学サンメッセ香川の従業員
- ・運行ルート沿線の民間事業所（協力的な事業所を優先）



実施スキーム



利用のメリット

- ・公共交通で通勤ができる
- ・交通事故の心配がない
- ・バスに乗っている時間を有効活用できる
- ・健康不足解消による健康づくり
- ・地域の社会貢献となる

実施フロー

